

エネルギーに関する学生アンケートについて

基本データ

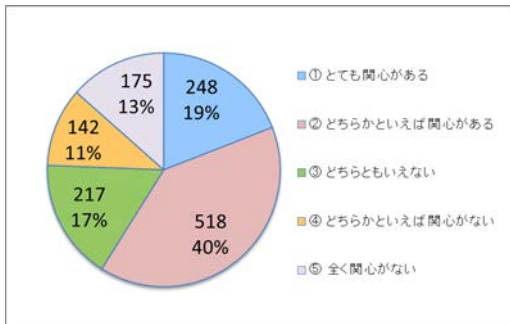
- ・アンケート期間
2014年9月4日～2014年9月15日
- ・回答者比率(男女、文系理系)
右図の通り

文系男子	232
理系男子	191
文系女子	544
理系女子	333
合計	1,300

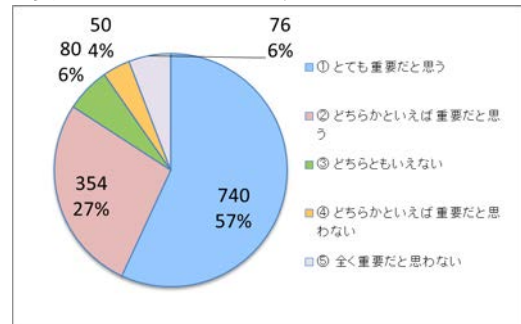
主要な結果

- ・約60%はエネルギー問題に関心があり、日本の将来を考える上で重要なテーマだと思う人は約85%とエネルギーに関する意識は高い。
- ・原子力発電所の再稼働に対して反対(44%)は賛成(28%)を上回り、どちらともいえないは28%もいる。
ただし男性のみでは賛成が反対を上回る(次ページ参照)
- ・今すぐ再生可能エネルギーを主力にできると考える人は16%

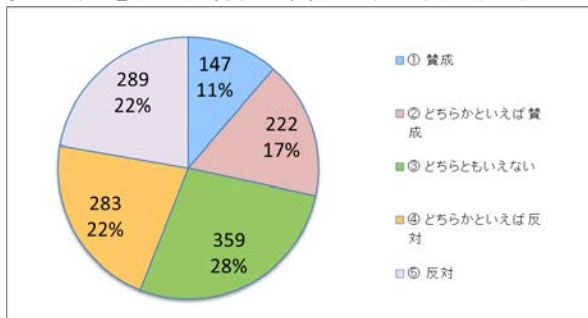
エネルギー問題にどの程度関心がありますか？



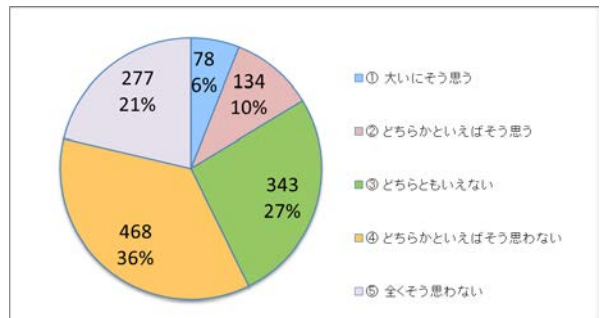
日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？



原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？



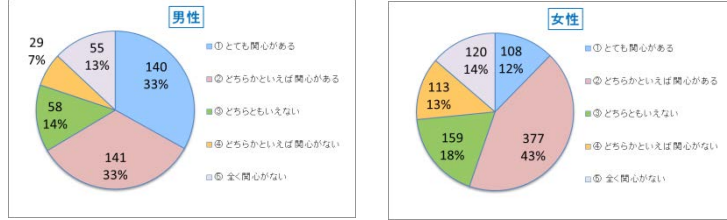
「今すぐ、再生可能エネルギーを日本のエネルギーの主力にできる」と思いますか？



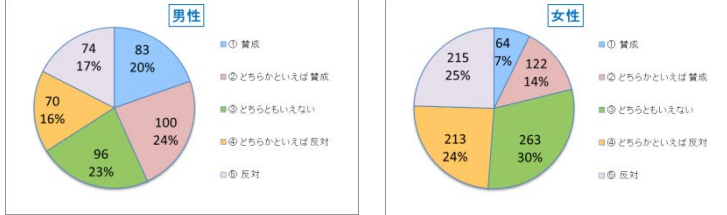
エネルギーに関する学生アンケート結果

男女、文系理系による比較

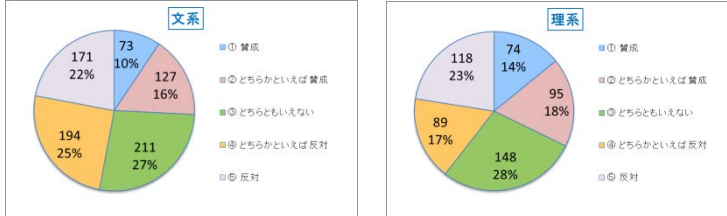
- エネルギーに関する関心は男女、文系理系、いずれの観点からも高いが、特に男女において男性の方が関心が高かった。



- 再稼働の賛否については、男性女性の観点では男性は賛成(44%)が反対(33%)を上回り、女性は反対(49%)が賛成(21%)を上回る。



- 再稼働の賛否については文系理系の観点では文系、理系ともに反対が賛成を上回る。文系は理系に比べ賛否の差が大きい。(賛成:反対)文系⇒26%:47%、理系⇒32%:40%

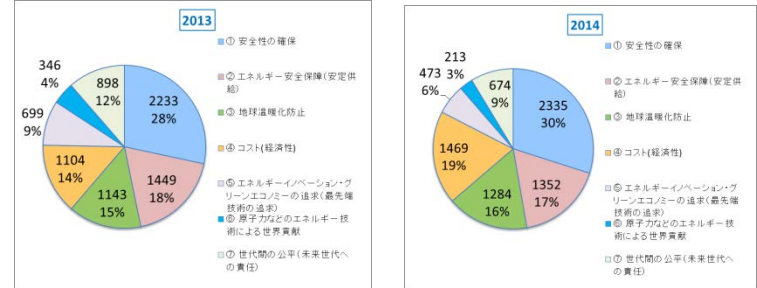


その他の設問について

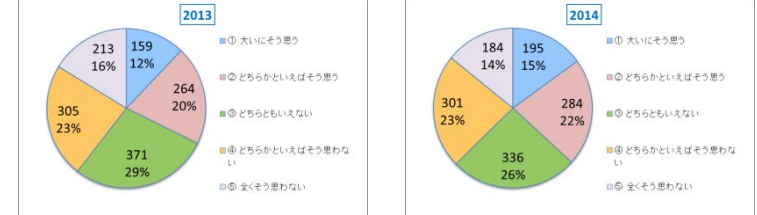
- 30年後の化石燃料の使用割合をどうすべきかについてLNGは変化がないものの、石油、石炭は使わない方が良いと考える人が増えた(Q5-1~3)
- 30年後の原子力の使用割合をどうすべきかについては、使わない方が良いと考える人がやや増えた。(49%→52%) (Q5-8)
- 30年後も原子力の研究を維持すべきと考える人は減っている(55%→47%) (Q-8)
- なんらかの節電をしている人が82%、何もしていない人が18% (Q②)
- 再生可能エネ普及のため、何らかの負担をしても良いと思う人が約8割(Q④)

昨年との比較

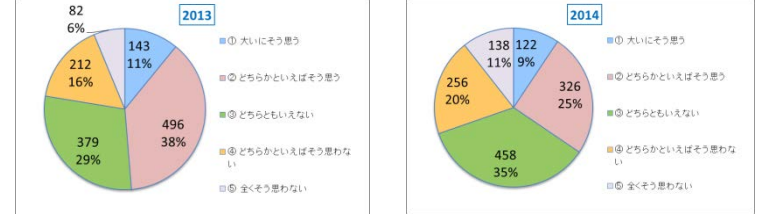
- 発電方式の選択において最重要視するものは「安全確保」であったが「コスト」が「エネルギー安全保障」と「温暖化防止」を抜いて2位となった。



- 原子力を早急にゼロにすべきと思う人はやや増えている。(32%→37%)



- 30年後に再エネを主力にできると考える人は減っている。(49%→34%)



- 夏や冬の電力不足を心配している人が過半数(52%) (Q⑥)
- 電気料金値上げは原発停止のため仕方ないとの意見が3割と一番多い一方、再稼働により解決すべきとの意見が2割(Q⑧)
- 原子力規制委員会の認知度は低い。(6割が知らない) (Q⑪)
- エネルギー自給率(Q10)、CO2排出量(Q5)、電源構成比率(Q9)、代替火力の燃料費(Q⑦)、世界の建設中プラント数(Q⑩)を尋ねる設問で正解率が最も高いのは代替火力の燃料費。

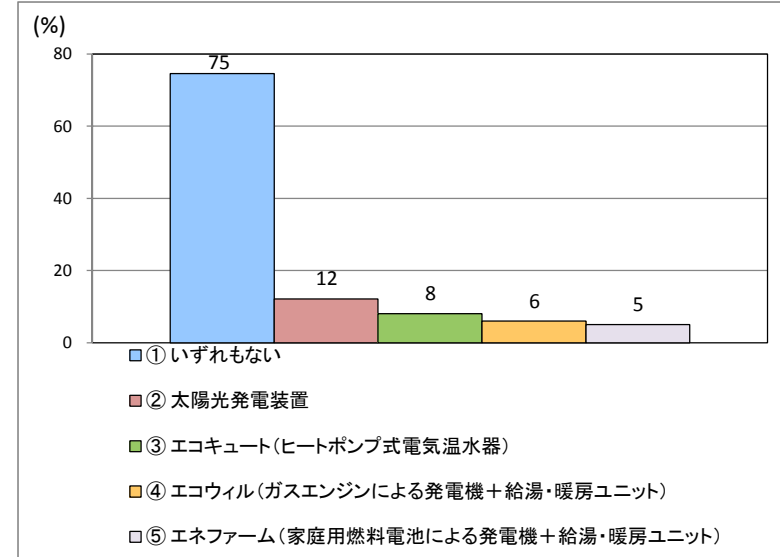
()の数字は詳細版での設問番号

<アンケート結果 2014 新規>

Q① 自宅(実家)に以下の発電、給湯装置のうち、何かお持ちですか？

		2014	
項目		人数*	回答率
①	いずれもない	969	75
②	太陽光発電装置	158	12
③	エコキュート(ヒートポンプ式電気温水器)	105	8
④	エコウィル(ガスエンジンによる発電機+給湯・暖房ユニット)	78	6
⑤	エネファーム(家庭用燃料電池による発電機+給湯・暖房ユニット)	65	5

*複数回答可

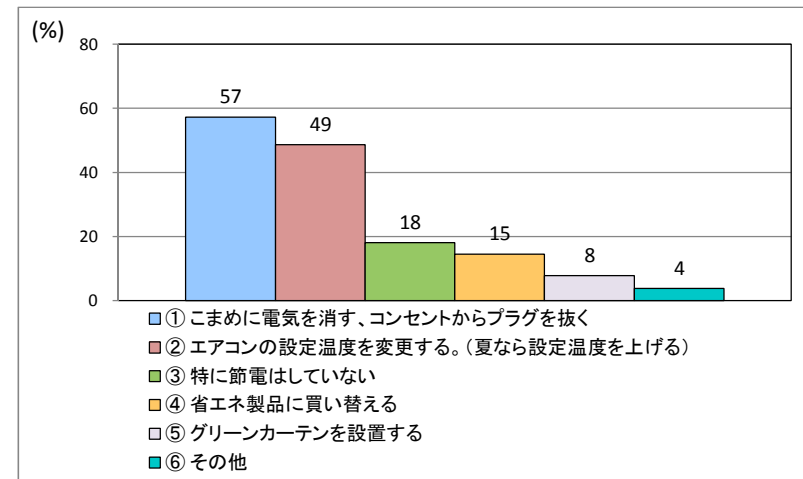


太陽光発電装置の設置実績は10%超

Q② あなた、もしくはご家族が実践している節電方法は何ですか？

		2014	
項目		人数*	回答率
①	こまめに電気を消す、コンセントからプラグを抜く	744	57
②	エアコンの設定温度を変更する。(夏なら設定温度を上げる)	632	49
③	特に節電はしていない	235	18
④	省エネ製品に買い替える	189	15
⑤	グリーンカーテンを設置する	101	8
⑥	その他	49	4

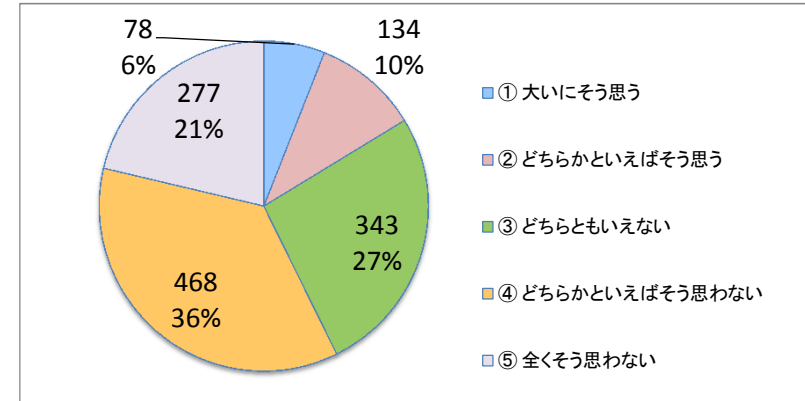
*複数回答可



複数の節電方法を実践している人がいる一方、何もしていない人が約2割いる。

Q③ 「今すぐ、再生可能エネルギーを日本のエネルギーの主力にできる」と思いますか？

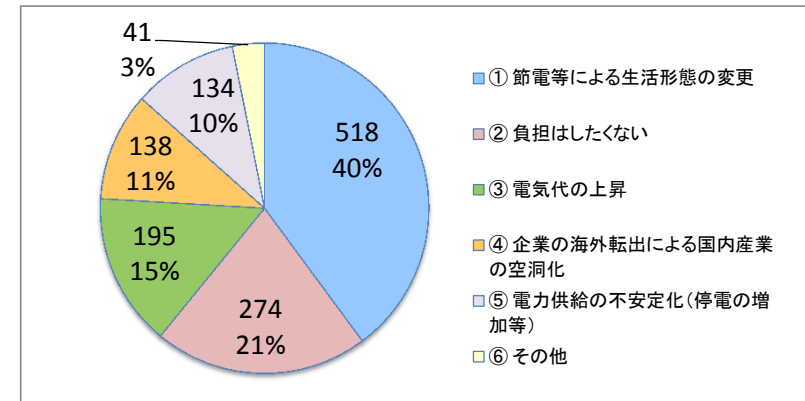
		2014	
項目		人数	回答率
①	大いにそう思う	78	6
②	どちらかといえばそう思う	134	10
③	どちらともいえない	343	27
④	どちらかといえばそう思わない	468	36
⑤	全くそう思わない	277	21
計		1,300	100



今すぐ再エネが主力にできると思ってない人は多い(57%)
 しかし、30年後にはできると思う人は16%→34%となり、
 30年後もできないと思う人は57%→31%
 (30年後のデータはQ6)

Q④ 再生可能エネルギーを急速に普及させるために、あなたが負担しても良いと思うものは何ですか？

		2014	
項目		人数*	回答率
①	節電等による生活形態の変更	518	40
②	負担はしたくない	274	21
③	電気代の上昇	195	15
④	企業の海外転出による国内産業の空洞化	138	11
⑤	電力供給の不安定化(停電の増加等)	134	10
⑥	その他	41	3
計		1,300	100



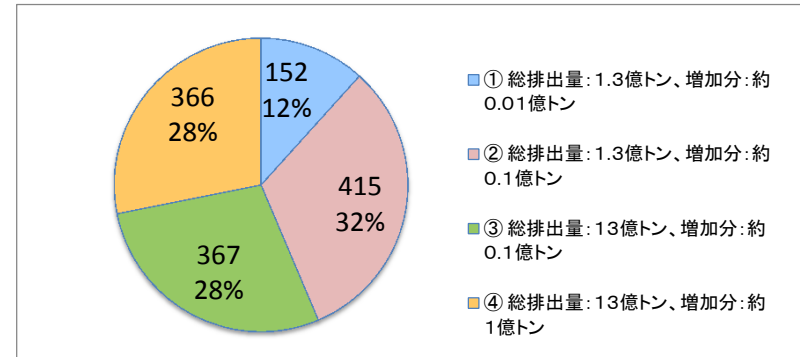
なんらかの負担をしても良いという人が約8割。

＜アンケート結果 2014 新規＞

Q⑤ 2012年度の温室効果ガスの総排出量と、原子力発電所が止まっていることによる同ガスの増加分はどれくらいだと思いますか？

		2014	
項目		人数	回答率
①	総排出量: 1.3億トン、増加分: 約0.01億トン	152	12
②	総排出量: 1.3億トン、増加分: 約0.1億トン	415	32
③	総排出量: 1.3億トン、増加分: 約0.1億トン	367	28
④	総排出量: 1.3億トン、増加分: 約1億トン	366	28
計		1,300	100

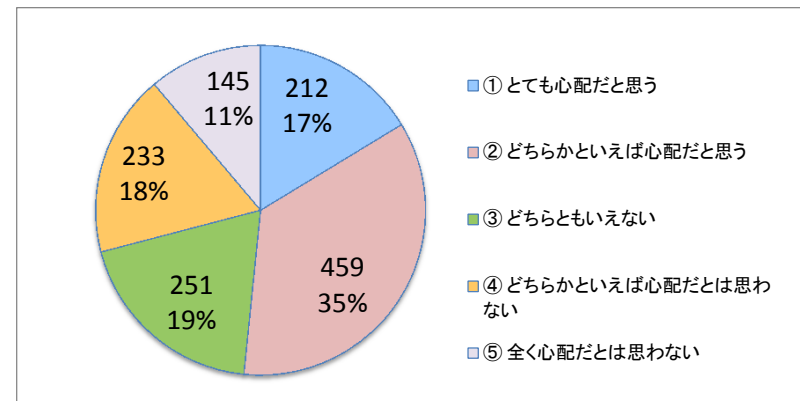
⇒正解



正解は約3割

Q⑥ 原子力発電所の停止による、夏や冬の電力不足について心配だと思いますか？

		2014	
項目		人数	回答率
①	とても心配だと思う	212	17
②	どちらかといえば心配だと思う	459	35
③	どちらともいえない	251	19
④	どちらかといえば心配だとは思わない	233	18
⑤	全く心配だとは思わない	145	11
計		1,300	101

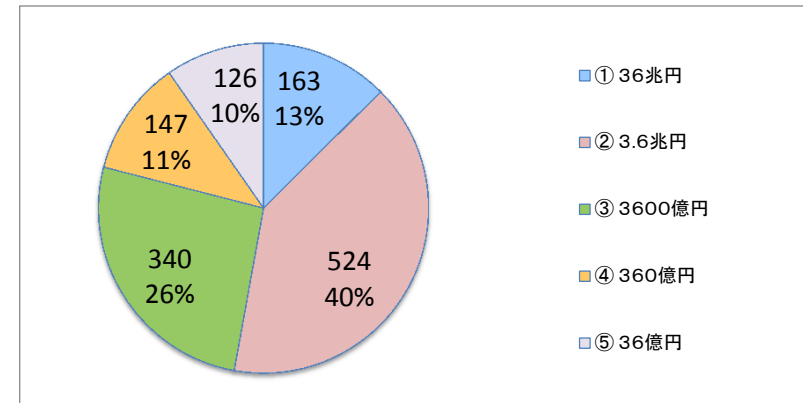


過半数は心配している。

Q⑦ 原子力発電の代替としてフル稼働したことによる火力発電の2013年度の燃料費の増加分はいくらぐらいだと思いますか？

		2014	
項目		人数	回答率
①	36兆円	163	13
②	3.6兆円	524	40
③	3600億円	340	26
④	360億円	147	11
⑤	36億円	126	10
計		1,300	100

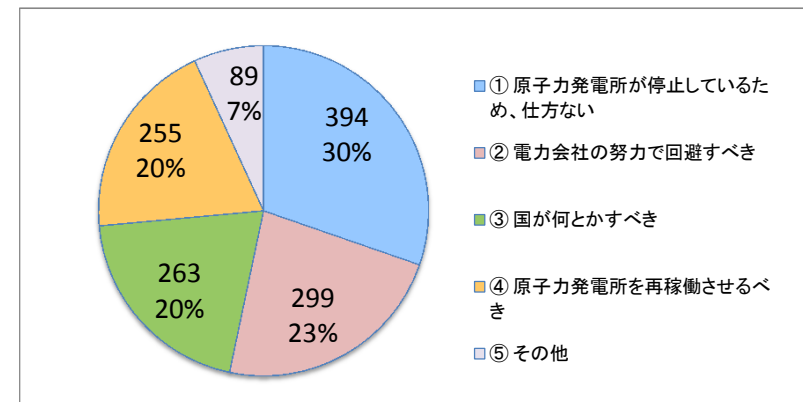
⇒ 正解



正解は4割。本問題が正解率はトップ。

Q⑧ 代替火力発電による燃料費増に伴う電気料金の値上げについてどう思いますか？

		2014	
項目		人数	回答率
①	原子力発電所が停止しているため、仕方ない	394	30
②	電力会社の努力で回避すべき	299	23
③	国が何とかすべき	263	20
④	原子力発電所を再稼働させるべき	255	20
⑤	その他	89	7
計		1,300	100



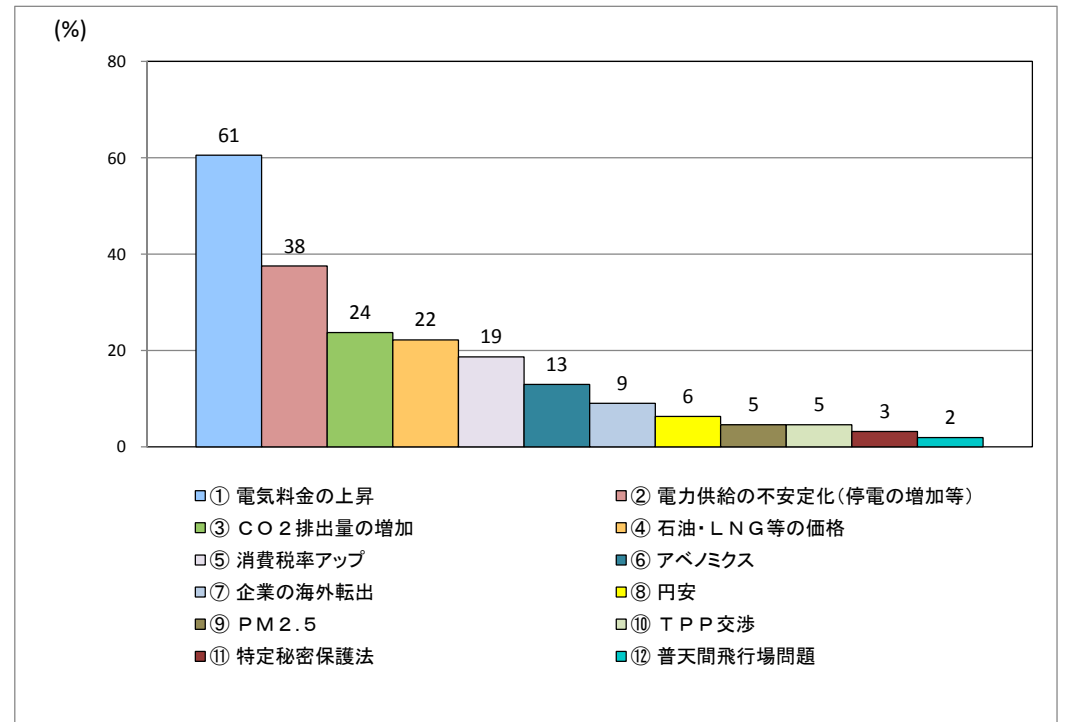
仕方ないとの意見が一番多く、3割を占めるも再稼働により解決すべきとの意見が2割。

＜アンケート結果 2014 新規＞

Q⑨ 日本国内で全ての原子力発電所が停止していますが、どのような影響があると思いますか？または影響があると思う項目は何ですか？

		2014	
		人数*	回答率
①	電気料金の上昇	787	61
②	電力供給の不安定化(停電の増加等)	488	38
③	CO2排出量の増加	308	24
④	石油・LNG等の価格	288	22
⑤	消費税率アップ	243	19
⑥	アベノミクス	168	13
⑦	企業の海外転出	117	9
⑧	円安	82	6
⑨	PM2.5	59	5
⑩	TPP交渉	59	5
⑪	特定秘密保護法	41	3
⑫	普天間飛行場問題	25	2

* 複数回答

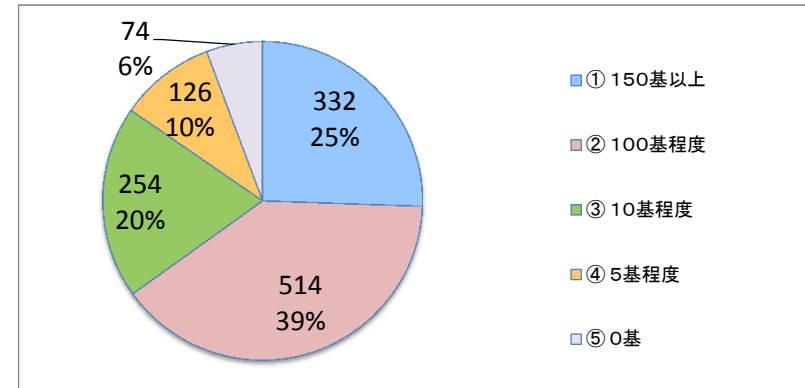


<アンケート結果 2014 新規>

Q⑩ 世界の建設中(建設計画中を含む)の原子力発電炉の基数はどの程度だと思いますか？(2014年1月1日時点)

		2014	
項目		人数	回答率
①	150基以上	332	25
②	100基程度	514	39
③	10基程度	254	20
④	5基程度	126	10
⑤	0基	74	6
計		1,300	100

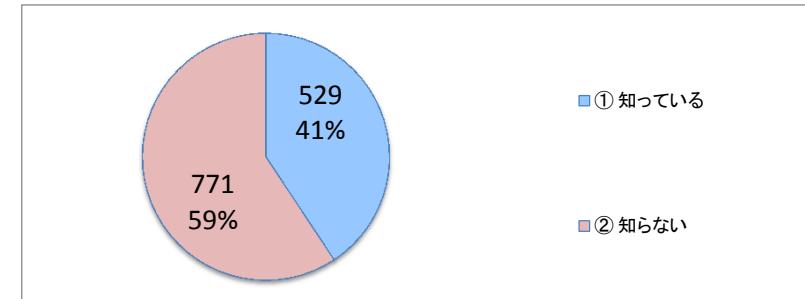
⇒正解
(建設中81基、計画100基)



正解は25%

Q⑪ 日本の原子力規制委員会を知っていますか？

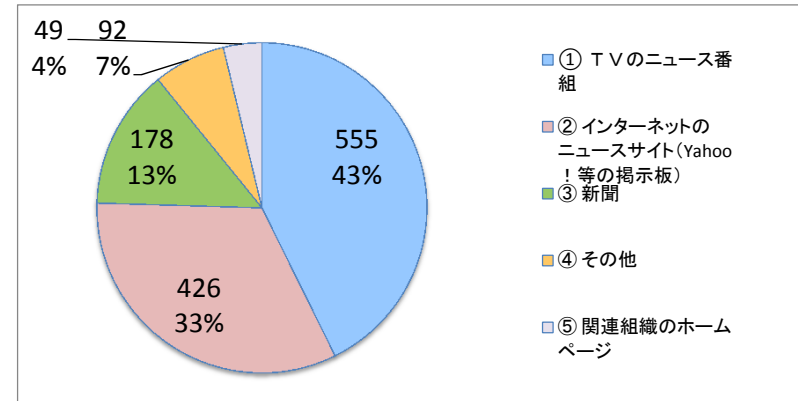
		2014	
項目		人数	回答率
①	知っている	529	41
②	知らない	771	59
計		1,300	100



知らない人は約6割と認知度は低い。

Q⑫ あなたが普段情報を得る際に利用する媒体は何ですか？

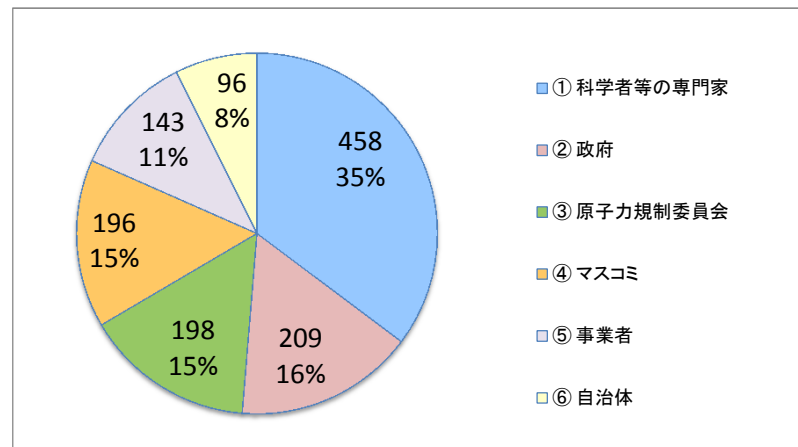
		2014	
項目		人数	回答率
①	TVのニュース番組	555	43
②	インターネットのニュースサイト(Yahoo!等の掲示板)	426	33
③	新聞	178	14
④	その他	92	7
⑤	関連組織のホームページ	49	4
計		1,300	100



新聞はTVのおよそ1/3。
インターネットが1/3を占める。

Q⑬ 原子力発電に関する情報であなたが最も信用できる情報源は何ですか？

		2014	
項目		人数	回答率
①	科学者等の専門家	458	35
②	政府	209	16
③	原子力規制委員会	198	15
④	マスコミ	196	15
⑤	事業者	143	11
⑥	自治体	96	8
計		1,300	100

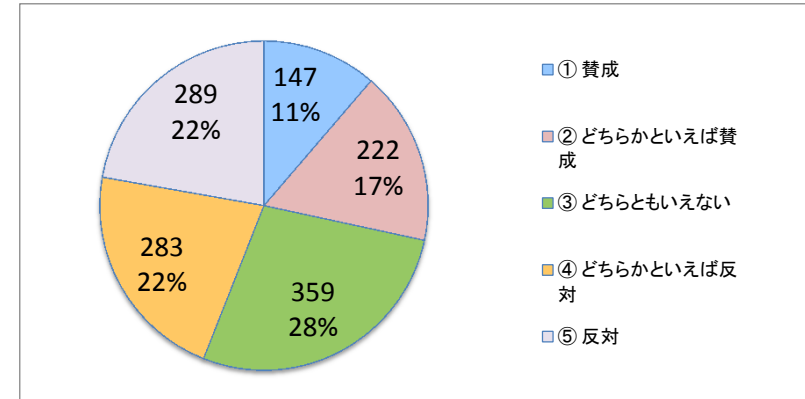


もっとも信頼されているのは科学者(35%)
またNRAを知っている人の1/3(198人/529人)が最も信頼できている。

<アンケート結果 2014 新規>

Q14 原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？

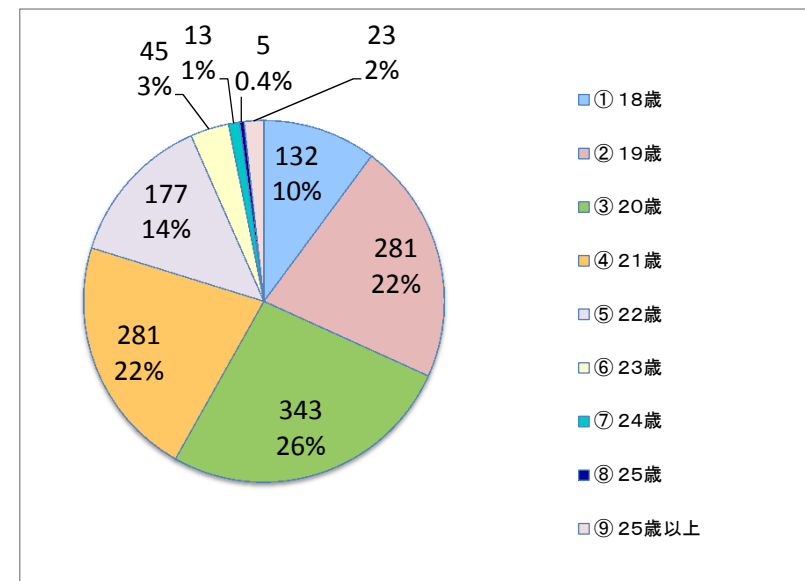
		2014	
項目		人数	回答率
①	賛成	147	11
②	どちらかといえば賛成	222	17
③	どちらともいえない	359	28
④	どちらかといえば反対	283	22
⑤	反対	289	22
計		1,300	100



賛成は28%、どちらともいえないは28%、反対は44%

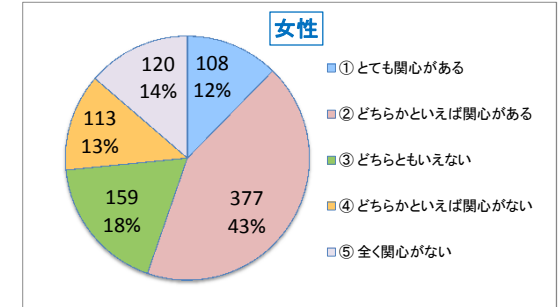
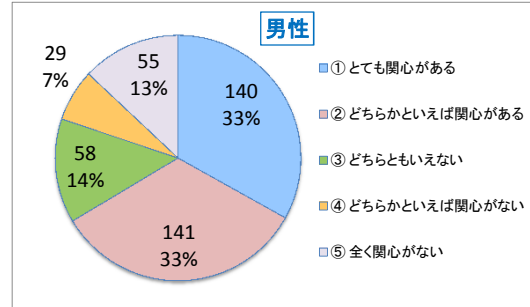
Q15 あなたの年齢は幾つですか？

		2014	
項目		人数	回答率
①	18歳	132	10
②	19歳	281	22
③	20歳	343	26
④	21歳	281	22
⑤	22歳	177	14
⑥	23歳	45	3
⑦	24歳	13	1
⑧	25歳	5	0.4
⑨	25歳以上	23	2
計		1,300	100



Q1 エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

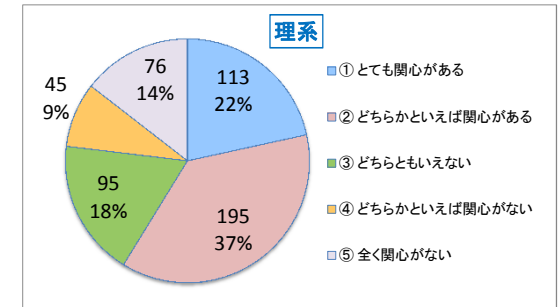
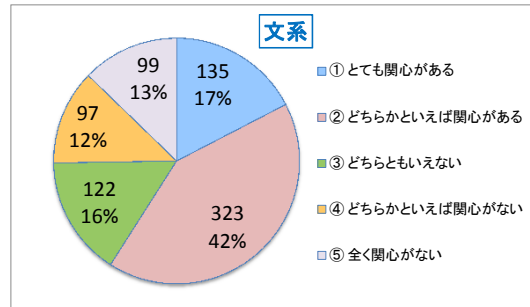
項目	男性		女性	
	人数	回答率	人数	回答率
① とても関心がある	140	33%	108	12%
② どちらかといえば関心がある	141	33%	377	43%
③ どちらともいえない	58	14%	159	18%
④ どちらかといえば関心がない	29	7%	113	13%
⑤ 全く関心がない	55	13%	120	14%
計	423	100	877	100



エネルギー問題への関心は男女ともに6割以上と高い。
 関心がある(①+②)男性は66%、女性は59%
 関心がない(④+⑤)男性は20%、女性は27%

Q1 エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

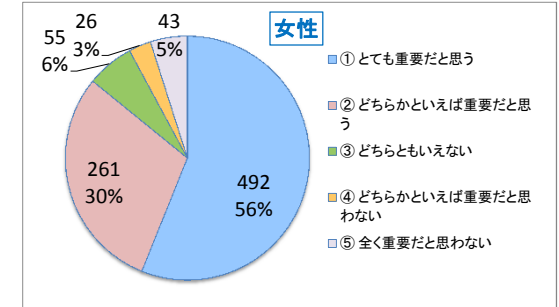
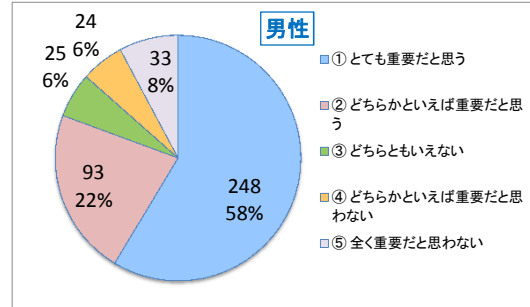
項目	文系		理系	
	人数	回答率	人数	回答率
① とても関心がある	135	17%	113	22%
② どちらかといえば関心がある	323	42%	195	37%
③ どちらともいえない	122	16%	95	18%
④ どちらかといえば関心がない	97	13%	45	9%
⑤ 全く関心がない	99	13%	76	15%
計	776	100	524	100



エネルギー問題への関心は文系理系ともに6割以上と高い。
 関心がある(①+②)文系は59%、理系は59%
 関心がない(④+⑤)文系は26%、理系は23%

Q2 日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

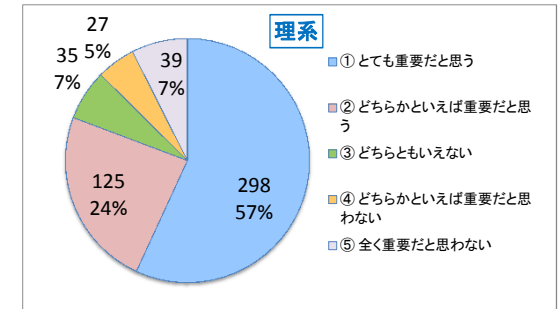
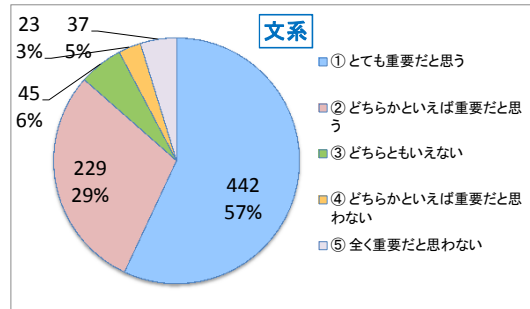
項目	男性		女性	
	人数	回答率	人数	回答率
① とても重要だと思う	248	58%	492	56%
② どちらかといえば重要だと思う	93	22%	261	30%
③ どちらともいえない	25	6%	55	6%
④ どちらかといえば重要だと思わない	24	6%	26	3%
⑤ 全く重要だと思わない	33	8%	43	5%
計	423	99	877	100



エネルギー問題が重要と思う人(①+②)は男女ともに8割以上と高い。
男性は80%、女性は86%

Q2 日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

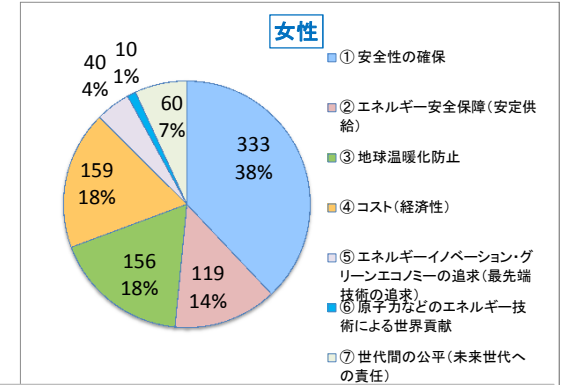
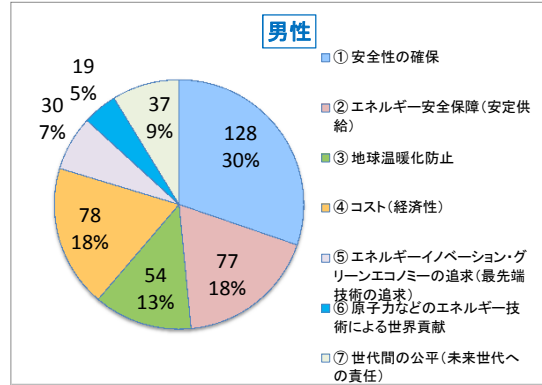
項目	文系		理系	
	人数	回答率	人数	回答率
① とても重要だと思う	442	57%	298	57%
② どちらかといえば重要だと思う	229	29%	125	24%
③ どちらともいえない	45	6%	35	7%
④ どちらかといえば重要だと思わない	23	3%	27	5%
⑤ 全く重要だと思わない	37	5%	39	7%
計	776	99	524	100



エネルギー問題が重要と思う人(①+②)は文系理系ともに8割以上と高い。
文系は86%、理系は81%

Q4 エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのは次のうちどれですか？

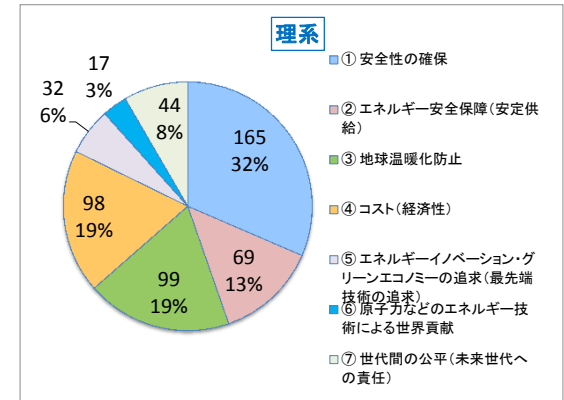
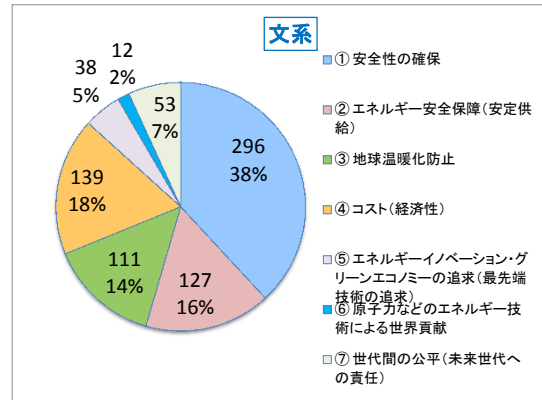
項目	男性		女性	
	人数	回答率	人数	回答率
① 安全性の確保	128	30	333	38
② エネルギー安全保障(安定供給)	77	18	119	14
③ 地球温暖化防止	54	13	156	18
④ コスト(経済性)	78	18	159	18
⑤ エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求(最先端技術の追求)	30	7	40	4
⑥ 原子力などのエネルギー技術による世界貢献	19	5	10	1
⑦ 世代間の公平(未来世代への責任)	37	9	60	7
計	423	100	877	100



男女ともに安全性を最重要視しているが女性の方が8%多い。
 男性は1位:安全性、2位(同率):エネルギー安全保障、コスト
 女性は1位:安全性、2位(同率):温暖化防止、コスト、
 また世界貢献は1%と低い。

Q4 エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのは次のうちどれですか？

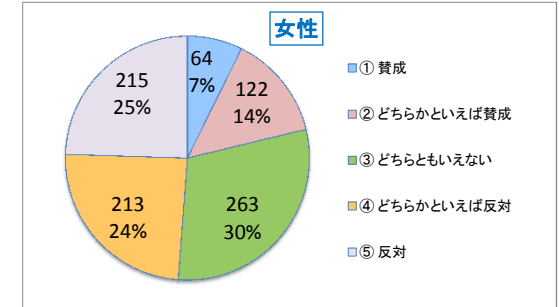
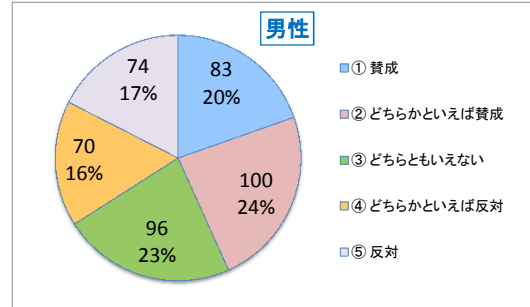
項目	文系		理系	
	人数	回答率	人数	回答率
① 安全性の確保	296	38	165	32
② エネルギー安全保障(安定供給)	127	16	69	13
③ 地球温暖化防止	111	14	99	19
④ コスト(経済性)	139	18	98	19
⑤ エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求(最先端技術の追求)	38	5	32	6
⑥ 原子力などのエネルギー技術による世界貢献	12	2	17	3
⑦ 世代間の公平(未来世代への責任)	53	7	44	8
計	776	100	524	100



文系理系ともに安全性を最重要視しているが、文系の方が6%多い。
 文系は1位:安全性、2位コスト、3位エネルギー安全保障
 理系は1位:安全性、2位(同率):温暖化防止、コスト

Q14 原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？

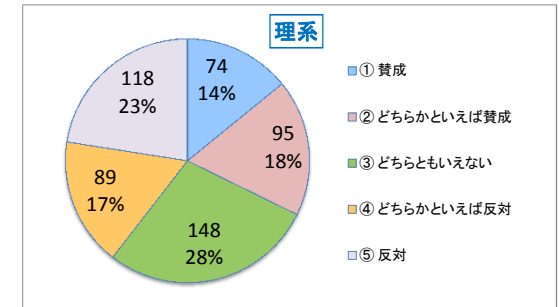
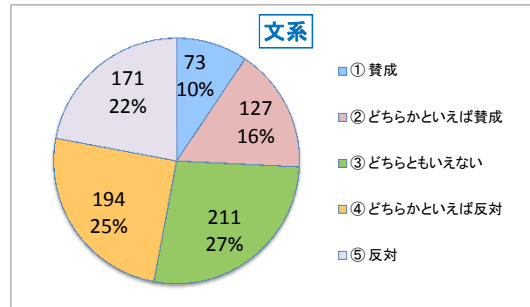
項目	男性		女性	
	人数	回答率	人数	回答率
① 賛成	83	20	64	7
② どちらかといえば賛成	100	24	122	14
③ どちらともいえない	96	23	263	30
④ どちらかといえば反対	70	16	213	24
⑤ 反対	74	17	215	25
計	423	100	877	100



男性は賛成が反対を上回り、女性は反対が賛成を上回る。
 反対(④+⑤)は男性33%、女性49%
 賛成(①+②)は男性44%、女性21%

Q14 原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか？

項目	文系		理系	
	人数	回答率	人数	回答率
① 賛成	73	10	74	14
② どちらかといえば賛成	127	16	95	18
③ どちらともいえない	211	27	148	28
④ どちらかといえば反対	194	25	89	17
⑤ 反対	171	22	118	23
計	776	100	524	100



文系、理系ともに反対が賛成を上回る。文系は理系に比べ賛否の差が大きい。
 反対(④+⑤)は文系47%、理系40%
 賛成(①+②)は文系26%、理系32%